

TOHATSU

PARTNER

2017年8月1日発行 / 夏号

VOL.102



Photo:ボート研隊キス釣り大会にて

CONTENTS

- | | | | |
|---------------------------|----|-----------------------|------|
| ●功労者表彰でトーハツから3名が受賞 | P2 | ●熊本ボートショー in 三角 | P4~5 |
| ●全国消防機器協会が消防機器等関係者を表彰 | P2 | ●マリンカーニバル2017 in 豊洲 | P5 |
| ●志村消防団第二分団操法大会二連覇達成 | P2 | ●名古屋ボートショー2017 in 常滑 | P5 |
| ●トーハツポンプ中央会総会 | P3 | ●大野ゴム工業(株)様・軽ワンボックス納入 | P6 |
| ●東北トーハツポンプ会総会 | P3 | ●京都市消防局・器材搬送車納入 | P6 |
| ●関西トーハツポンプ会総会 | P3 | ●大阪市消防局・V20E納入 | P6 |
| ●トーハツポンプサービス研修会 | P3 | ●東日本第一号の軽救急車お披露目 | P6 |
| ●富士ボートテイング試乗会開催 | P4 | ●第24回ボート研隊キス釣り大会 | P7 |
| ●広島ボートショー・マリンランフェスタ2017開催 | P4 | ●利根川水系連合・総合水防演習に出展 | 裏表紙 |



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>

平成29年度 日本消防ポンプ協会 功労者表彰 トーハツ(株)の真田氏、小山氏、新井氏が受賞



去る5月24日(水)、一般社団法人日本消防ポンプ協会の定期総会に伴い、消防業界関係者が多数出席する中、平成29年度の功労者表彰が東京信濃町の明治記念館にて行われました。

この栄誉ある功労者表彰に、トーハツ(株)からは防災営業部次長の真田徳仁氏、駒ヶ根工場製造課課長の小山勉氏、サービス部品センターサービス室の新井正志氏の3名が受賞されました。この3名は消防ポンプをはじめとする、防災機器業界の発展に寄与された功労が認められての受賞となりました。また、受賞者を代表して真田氏が謝辞を述べられました。今後も消防業界発展の為に大いに尽力頂きたいと思っております。

この度の受賞、誠にありがとうございます。

(防災営業部)

平成29年度 消防機器等関係者表彰

去る5月31日(水)、東京都港区にある芝パークホテルにて平成29年度消防機器等関係者表彰が行われ、当社防災営業部消防車両課長 志津川真一氏がこの栄誉ある賞を受賞されました。

表彰式には、この賞を主催する全国消防機器協会の関係者をはじめより消防庁長官、日本消防検定協会理事長、日本消防設備安全センター理事長などのほか、多数の消防関係者や業界関係者が出席され、盛大且つ静粛に執り行われていました。

このたびの受賞、誠にありがとうございます。

(防災営業部/真田)



平成二十九年度志村消防団操法大会 志村消防団第二分団 二連覇達成



去る6月11日(日)、板橋区にあります東京都中央卸売市場板橋市場にて平成二十九年度志村消防団操法大会が行われました。

トーハツは地域社会に貢献するべく、平成21年に「消防団協力事業所」に登録されました。現在まで消防団活動や地域の防災訓練等に協力しております。

この大会に集結した消防団は板橋区志村消防団に全10分団あり、分団毎にこの大会に日夜、訓練を積み重ねております。

トーハツ団員が所属している志村消防団第二分団、昨年優勝し追われる者のプレッシャーを感じながら大会に挑みました。会場は、多くの来賓者、選手の家が来場し、緊張と熱気に包まれておりました。

結果、出場10分団中頂点を極めたのは我がトーハツが消防団協力事業所としてお世話になっている志村消防団第二分団！志村消防団第二分団は大会二連覇、当社トーハツ社員の井手隆雄が加えて三番員とし個人賞二連覇を達成。誠にありがとうございます！

(防災営業部/後藤)

トーハツポンプ中央会

去る5月19日(金)東京駅八重洲口近くのAP八重洲にてトーハツポンプ中央会の春期総会を執り行いました。

総会では逆井会長、日向社長による開会あいさつにて始まり、昨年度の事業報告、今年度の事業計画、予算案の承認と役員の変更を行いました。また後半には各会員の業界近況報告を行い活発な意見交換も行われ有意義な一日でした。

皆様お疲れ様でした。

(防災中央/金子)



東北トーハツポンプ会



平成29年度東北トーハツポンプ会春季総会が去る5月9日(火)・10日(水)の両日で、「ホテル佐勤」で開催されました。総会は、同ポンプ会の平間会長が挨拶を行い、業界再編の動きが着々と忍び寄るのではとご挨拶頂きました。

続きましてトーハツ(株)青山取締役から日頃の拡販の感謝の御礼を申し上げ、今後の業界動向に注視すると約束して頂きました。

そして、3期6年東北トーハツポンプ会長を務めて頂きました、平間会長が退任され、副会長の(株)高義商会高橋社長が新会長として会運営を務めることになりました。

質疑応答では、ポンプ更新年数の短縮に関する内容を皆様と意見を出し合い前向きな総会になりました。懇親会では、仙台牛を堪能し和やかムードで歓談し親交を深めました。

皆様には遠路ご出席を賜り誠にありがとうございました。

(防災東北/田中)

関西トーハツポンプ会

5月11日(木)~12日(金)の2日間で関西トーハツポンプ会を伊勢志摩の戸田家にて開催致しました。11日(木)の会議は滞りなく終了し、トーハツの販売状況やVFボトムカウルの変更等の新しい情報も発表できました。また浄水装置のPRも行い、早速デモの要望を頂く等、有意義な会議となりました。会議終了後の懇親会も盛り上がり、参加者同士で交流を深め、今後のビジネスも活かす情報交換もできたと思います。



12日(金)は市内視察で伊勢神宮散策の後、松坂市内に移動して最後は松阪牛に舌鼓を打ちながらの昼食となりました。各地域の状況等を知る事ができ、非常に貴重な機会となりました。

遠方まで参加頂き、また開催にご協力頂きまして有難うございました。

(防災関西/田村)



◎平成29年度 トーハツポンプサービス研修会◎

「平成29年度 トーハツポンプサービス研修会」が6月19日(月)~23日(金)の5日間に渡り、駒ヶ根工場にて開催されました。今回は全国ブロック9社の販売店から9名の研修生の参加により行われました。

今回は年齢では18歳から48歳と幅広いが社歴の浅い方が多く、初歩的な事を含めてスケジュールを立てました。通常行われる1日の研修会に比べ5日間の研修会ですので、内容も操法・中継体験に始まり、VF/VCの分解・組立、トラブルシューティングVFに関してはテストコード、ダイアグノーシスシステムの使用方法など、幅広い内容で行いました。

研修会は、よりポンプに深く接していただき理解を更に深めていただく為、2~3名の小グループ4班に分けて行われました。各グループにおきましては全員が真剣に取り組んでおり、有意義な研修であったものと思われま。

この中で、年輩の方が他の研修生に対し真剣に教えている姿がとても印象的でした。また、色々な事の見解、情報の交換が出来たと思います。この度は研修会にご参加頂きました販売店の皆様、ならびに各関係部署の方々のご協力をいただき誠にありがとうございました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。

また、今回参加していただいた研修生のみなさん、大変お疲れ様でした。

(サービス室/上川路)



(株)富士ボートテイング試乗会

マリンシーズン到来の5月20日(土)~21日(日)に世界遺産富士山の麓、駿河湾、静岡県沼津市の(株)富士ボートテイングに於いて3メーカー合同の試乗会が開催されました。試乗会両日とも絶好の試乗会日和とあり多くの試乗希望のお客様が来場されました。

各メーカー共に自社の自信作を試乗艇として持ち込む中、当社は釣り機能に特化しながらプレジャーユースに対応した独自路線のTFW-25Rを投入し、他社とは違った路線で訪れたお客様の注目を浴びていました。また今回は(株)富士ボートテイング様の企画で、来場されたお客様全てにBBQスタイルの振舞いを行い、来場されたお客様全てがマリンレジャーの楽しさを満喫されていました。

そんな中、今後の成約に繋がるホットな商談も数多くあり、とても有意義な試乗会となりました。

(東日本販売課/飯島)



広島ポートショー マリングランフェスタ2017開催



瀬戸内に早春の波音が聞こえる時期になると、ボートが疾走する風景が数多くみられる広島には大勢のマリンレジャーファンが集まります。

今年で32回を迎える「広島ポートショー マリングランフェスタ2017」が4月15日(土)~16日(日)の両日に開催致しました。

初日は天候不十分で春雷の襲来を受け、来場者も少ない様子でしたが、夕方になると大きな虹がキャンパスに描いた絵のごとく鮮やかに広がり、明日へ繋がる希望へと輝かせてくれました。

翌日の日曜日は好天になり、来場者の数も大幅に増え2日間で8,319名と昨年をやや上回る入場者数により、各ブースが潤った状況ではないかと感じます。

当社のブースは、今回もアキレスボート+MFS2B5仕様の展示と、8月発売予定のMFS20Eの展示に、小型ボートファンのお客様が新型MFS20Eをご覧になって、重量が44kg、このクラス最軽量の驚きの表情でじっくり見学しておられるのがとても印象に残りました。

価格は未発表ながらも、大勢の方々に宣伝できたことは、今後の販売に役立つ成果が得られる事と思います。

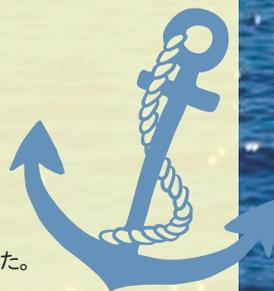
又、ゴムボート釣りファンの為に、ゴムボートの組立・収納方法のDVDや、実際に釣りに出かけて、大きな鯛やカンパチなどを釣っている一般の方が撮影したDVDの映像を映し出すと、目を凝らして一生懸命見入っている様子が気になり、今後も魚種や仕掛けなどを変えて色々な場所で撮影して頂ければ、更に興味のある人が増える事間違いなし。

広島での開催は地方のポートショーでは大変多く来場され、特に家族での来場が多く、海に親しまれている土地柄、小さな子供さんもボートに乗って、触って品定めをする様子が見え、将来のお客様に感謝しております。

今回は風の影響は少なく、試乗や展示にも影響がなく、とても快適な展示会で開催できてスタッフの皆様にも大変お世話になりました。

これからも更なるマリンレジャーの発展に協力できます様に、お祈り申し上げます。

(マリン西日本販売/中野)



がんばっています、くまもと

2017年 熊本ポートショー in 三角

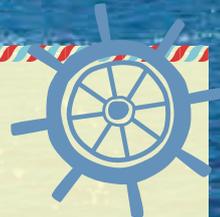


昨年『熊本地震』により中止となった『熊本ポートショー』今年も宇城市三角東港に会場を移し開催されました。

昨年の震災による中止から今回はマリン事業の普及、振興、市場活性のみならず、未だ復興途上の地域の方々へ少しでも元気を届けようという想いを胸に、関係省庁、関連団体、業界各社一丸となり、晴れて開催の運びとなりました。

当日は開演前からお客様の行列が出来るほど、来場者数は2日間トータル2,876名、この地域では、めずらしい賑やかさとなる大盛況でありました。主催者側も予想をはるかに超える来場者数に驚きつつ、満面の笑みを浮かべ対応にあたっておりました。

マリンカーニバル2017が2週にわたり開催!



マリン人口の需要創出を目的とした業界イベントであるマリンカーニバル2017が、6月3日(土)~4日(日)に複合商業施設らぼーと豊洲で、6月10日(土)~11日(日)は夢の島マリーナにて2週にわたり開催されました。

第1週目の豊洲会場では、発見と学びをテーマにし、マリンレジャーの楽しさを知ってもらうために様々な展示・イベントが行われました。船外機コーナーでは、今夏発売予定の同クラス最軽量のインジェクションモデル15馬力をはじめ2馬力船外機を展示し、ボートコーナーは人気のMFS50Aを搭載したTFW-17Rをトレーラーセットで展示、ボートに乗れて操船気分が味わえることもあり多くの子供たちでにぎわっていました。

第2週目の夢の島会場では、実際に体感してもらうことを目的に各社自慢のボートを集め体験試乗会が行われました。当社は、BFT90Aを搭載したTFW-25Rの試乗艇を準備し、豊洲エリア~お台場を回るコースにて体験試乗を実施、なかなか見ることのできない運河・海からの街の光景に乗船頂いた多くのお客様は大興奮でマリンの楽しさを満喫していただくことができました。

当イベントを通じて多くのお客様にマリンの楽しみを知っていただく良い機会となりました。

(マリン課/榎本)



名古屋ポートショー2017 in 常滑



今年も中部地区最大級のマリンイベント、名古屋ポートショー2017が4月14日(金)から3日間、愛知県常滑市のNTPマリーナ『りんくう』で開催されました。好天にも恵まれ期間中は家族連れをはじめ多くの来場者で賑わいました。

今年も各社試乗会を実施し、トーハツブースではアキレス株式会社にご協賛頂き、トーハツMFS2BをセットしたピンクカラーのLW310の試乗会を行いました。気軽に楽しみたいとミニボート試乗を目的として来場される方も多く、MFS2Bの力強い走りに納得されている表情が印象的でした。最終日まで本当に沢山の方に試乗して頂き、マリンレジャーの注目の高さを感じました。

一方で、今夏発売予定のMFS9.9Eを陸上展示。現行モデルに比べ大幅に軽量化した実機の周りには実際に持ち上げてみたり、じっくりとご覧なれりと常に多くの方が集まっておりました。新製品発売そして、シーズン開幕に向けトーハツ製品の良いPR機会となった3日間でした。

(西日本販売課/松下)



熊本はトレーラを活用できる環境に恵まれており、トレーラブルボート、ミニボートファンが大変多い地域であります。当社は4ストローク50馬力を搭載した17フィートレジャー和船TFW17Rをトレーラに搭載し展示を行いました。17フィート程よいコンパクトボディにスタイリング、高い機動性と更にお手軽感から、ミニボートファンの方々が、足を止め、質問されるなど、販売店、スタッフ共々、大忙しな2日間でありました。ミニボートからステップアップを目指すお客様は、見積り片手に熱心に質問され商談もたくさんあり、成約もいただくなど、盛況のうちに閉幕致しました。

ご支援いただきました関係各位に心から御礼申し上げますとともに、熊本地震で被災されました方々の早期の復興をお祈りいたします。

(西日本販売課/田中)



納入しました



大野ゴム工業(株)遠野工場 軽ワンボックス納入

大野ゴム工業(株)様はVF53ASや船外機のパーツを製作して頂いている、重要な協力会社様に最新鋭のVF53ASを搭載したワンボックス型軽積載車を納入させて頂きました。

納入の背景は、岩手県遠野工場の消防設備強化と近隣工場が火災発生した際にいち早く駆け付け消火活動し、災害の際は近隣住民と協力することを目的として導入しました。

それには知識や経験が必要の為、地元消防団に新たに数名入団しております。地域貢献に対する気持ちを弊社も見習う部分があり感銘致します。

納入に尽力いただいた関係業者様には、厚く御礼申し上げます。

(防災東北/田中)



京都市消防局 器材搬送車納入

3月21日(火)に京都市消防局へ器材搬送車を納入しました。軽四ワンボックス車で、災害時には必要な資機材を車内後部に積載できる車両となっております。

資器材だけでなく人員の搬送や移動にも使用できるため、消防局担当者からも、様々な場面で活用できると好評でした。納入後は、すぐに活躍の場である左京消防署へ配備となりました。

販売及び納入にご尽力頂きました(有)平井式ポンプ工業様に改めてお礼申し上げます。

(防災関西/田村)



大阪市消防局 V20E×30台の納入

3月16日(木)に大阪市内の25か所の消防署へ納入しました。市内には約700台のC-1級があり、毎年約30台ずつの更新計画がありますが、更新が追い付かず、古いポンプを使用している地域もあります。

納入の際、消防署担当者からも新しいポンプに更新することで住民に対して安心して頂けると好評でした。大規模災害の際、自主防災組織が活躍できるよう、公園の防災倉庫に設置されております。

販売及び納入にご尽力頂きました木内ポンプ(株)様に改めてお礼申し上げます。

(防災関西/田村)

東日本第一号!! 軽救急車!!!

去る4月6日(木)に江の島にて大々的にお披露目式が開催されました。

活躍の場は江の島。古くから観光名所として知られ、年間を通じて多くの観光客が訪れます。一方で島内の道路は狭く、一般的な高規格救急車では走行できません。そこで、島内での救急事案に対して、人力でストレッチャーを山頂まで運搬し要救助者を乗せ下山していました。こうした中で、江の島は東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技会場になることが決定。国内外からさらに多くの観光客が訪れることが予測されることから、藤沢市消防局では体制強化と安全安心の確保に向け、専用車両である軽救急車の導入を決めて頂きました。

軽自動車の限られたスペースながらも救助資器材を搭載でき非常に満足して頂きました。

今回の納入に際しまして米山商事(株)様の多大なるご尽力に感謝致します。ありがとうございました。

(防災中央/佐藤)





第24回ボ一研隊キス釣り大会

最近の気象状況は変化しており、毎年ボ一研隊のキス釣り大会(6月の第三日曜日おやじの日)には設営準備日を含め雨が降る日が多かったのですが、今年は空梅雨により、2日間共に雨が降らなかったのは不思議でした。

多分晴れ男・晴れ女の人数が雨男女を上回ったのかもしれないね？

さて、毎年恒例の、大阪府堺市のリトルボート販売「ボ一研隊キス釣り大会」が福井県小浜市鯉川にて6月18日(日)に華々しく開催。

毎年多くの釣り仲間(ボ一研隊)が全国よりこの日を目指して匠の技を披露します。リトルボート販売で購入されたボート・船外機を前日よりお披露目開始(当日参加も披露)。

当日は海上保安庁の安全指導をはじめ、万が一遭難した時の連絡方法や救助指導を行い、早朝にボ一研隊隊長【リトルボート田原社長(表彰台写真右)】のスタータビストルの「パーン」と言う合図で各自のボートが疾走、大物獲得ポイントを目指して大海原に散らばります。

近年は若い方のボ一研隊が増えて来ており、家族の参加や女性同伴など、様々なボ一研隊で賑やかに釣りを楽しんでいたように見受けられました。

10時頃から次々に各艇が上陸し、残念ながらボウズ(釣果無)の方も、まるで心が項垂れる思いだとお察しいたしました。しかし、続々と上陸する艇からは、大物や大漁節の歌声が心に響くボ一研隊も、笑顔で検寸・重量・外道長寸受け、「もっと伸ばしてくれ〜」の悲鳴も少し聞こえたような気がしましたか？

釣果発表、キス外道長寸の部→重量の部→長寸の部と発表。今回はリトルボート販売オリジナル艇に「メダリスト」と言う船が有りますが、関係あるのか不明です。

メダル(金・銀・銅)を1位〜3位の方の首に重たくかける瞬間が、とても嬉しそうな笑顔がステキでしたよ。

なんと、今回の長寸は女性の子供さん！ 毎回お父さんと一緒に参加しておりました。あまりにも重たく、一人では上がらないかと思いきや最後まで吊り上げ、なんと27センチ超え、ついに頂点に君臨する結果となり、将来は某釣り具メーカーの〇〇〇〇のような釣りガールに成る素質充分。来年も連覇狙って下さいね。

本人も大変喜んでおりましたが、更にお父さんの目がウルウルする位、愛娘の成果に大喜び、今日は「おやじの日」になった事と思います。

又、外道の部では金メダル・長寸の部では銀と「欲張りのボ一研隊」も現れ、他のボ一研隊の意欲を燃え上がらせる結果となり、次回の開催では更なる闘志に期待が持てます。

ボ一研隊の隊長は、全員に参加賞がもらえるように、抽選会では各取引先やメーカーよりご協賛頂き、又リトルボート販売よりも景品を提供しておりますので、豪華な賞品が当たる大抽選会となって、ボウズの方も当たるようなシステムにより最後まで残っているボ一研隊が多くいました。

次に隊長の願いは、釣る事も大事ですが、マナーについて「釣り人は自分のゴミは持ち帰る事」が義務であり、海岸の清掃目的で長年に渡り釣り大会が行われている事を忘れてはいけません。ボ一研隊は皆、同じ考えであって欲しい。間違った考え方をした者は一喝されます。

メーカー各社・ボ一研隊のスタッフの皆様、汗一杯かかれて、大変お疲れ様でした。リトルファミリーの皆様におかれましては、毎年「夏おでん」が人気で、具材も変わった具材が使われ、より美味しく煮込まれて、前日より待ち望んでいるお客が大勢いましたので、来年も変わり種おでん楽しみにしております。

今回から、リトルボート販売よりお買い上げになられたお客様対象で行われましたので、皆さんリトルボートファンばかりで、より親しみやすい雰囲気でした。

又、新しい取り組みとして専属カメラマンの阪井氏がドローンを使い、会场上空の幅広い範囲を撮影しております。

詳しくは、リトルボート販売のHPもしくは、今人気中のブログ「ボ一研隊おやじの独り言」通称「おやじブログ」をご覧くださいならましたら面白い撮影が見られますよ。

今回の参加艇114艇、参加者194名の参加で、トーハツ製造船外機が多くの皆様に支持され、リトルボート販売様のご尽力に賜わり、大変感謝いたしております。

今後共宜しく申し上げます。

(西日本販売課/鯉太郎)



第66回 利根川水系連合・総合水防演習

展示スペースに出展



初夏を感じさせるような日差しの中、5月20日(土)に埼玉県加須市の利根川河川敷にて第66回利根川水系連合・総合水防演習が実施されました。

トーハツとして同会場に設けられた展示会場に、水陸両用車、インフレーターボートなどの水防/水難救助に対応した製品の展示をいたしました。

当日は快晴の中イベントが行われ、多くの方がお越しになりました。冠水時の排水用にも使用できるミニフロートリングストレーナや、短時間水に漬けるだけで土

のうに早変わりする吸水土のうなどが好評でした。国交省や消防関係者、自治体の方以外にも一般の方々も多く来場され、水防、水害に対する意識や関心が強いことを改めて感じました。

トーハツの企業理念にもある、社会貢献という立場からも、今後も防災に関する製品で地域社会に貢献をしていきたいと思えます。

(防災営業部/桑澤)

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社
トーハツパートナー編集局
編集兼発行責任者 牧 邦治/青山 滋